

# 平成 22 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名                      卜部 敬康

最終学歴	関西学院大学大学院社会学研究科博士課程後期課程単位修得退学	
取得学位	修士（社会学）、学士（理学）	
所属学会	日本心理学会、日本社会心理学会、日本教育心理学会、日本社会病理学会、日本教育社会学会、日本公共政策学会、日本心理臨床学会 他	
専門分野	社会心理学、集団力学	
研究課題	社会心理学の社会制度・政策への応用	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会心理学Ⅱ</li> <li>・集団力学</li> <li>・応用心理学</li> <li>・世界遺産社会心理学特殊講義</li> <li>・世界遺産学概論</li> <li>・社会心理学応用実習</li> <li>・社会心理学演習</li> </ul>
	大学院修士課程担当科目 （博士前期課程含）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団力学特殊講義</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
	大学院博士後期課程担当科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
	通信教育部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心理学基礎</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
【研究上の特記事項】	社会心理学の知見を、人間行動の変容という方向ではなく、社会制度・政策の方向転換の根拠として用いる、という方向で応用することを目指している。従来からの研究課題であった教育政策および災害復興政策への社会心理学的知見の応用に加え、本学の世界遺産コースを念頭に置いて、観光地のまちづくりへの応用のためのデータ収集に取り組んでいる。	
【教育上の特記事項】	3年次、4年次の演習においては、私の研究課題と連動して「社会心理学の社会制度・政策への応用」をテーマに、教育現象、家族現象、青少年問題、情報化社会の問題点等について、学生の自ら考える力を育成することを目指している。学んだ成果を体験する機会として、演習では合宿研修を行ったほか、講義を受講する有志学生の参加するフィールドワークを実施した。	
【社会的活動】		
【学内活動】 (学内職歴を含む)	全学教務委員、国際交流委員、大学院研究年報編集委員長	

研究業績[著書、学術論文等]

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) ① ② ③ ④ ⑤				
(学術論文) ① ② ③ ④ ⑤				
(学会発表) ① ② ③ ④ ⑤				
(その他) ① ② ③ ④ ⑤				